

Fukuoka City Public Library Movie Hall

# Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

beyond  
2020

2021  
May  
vol.282

# 5

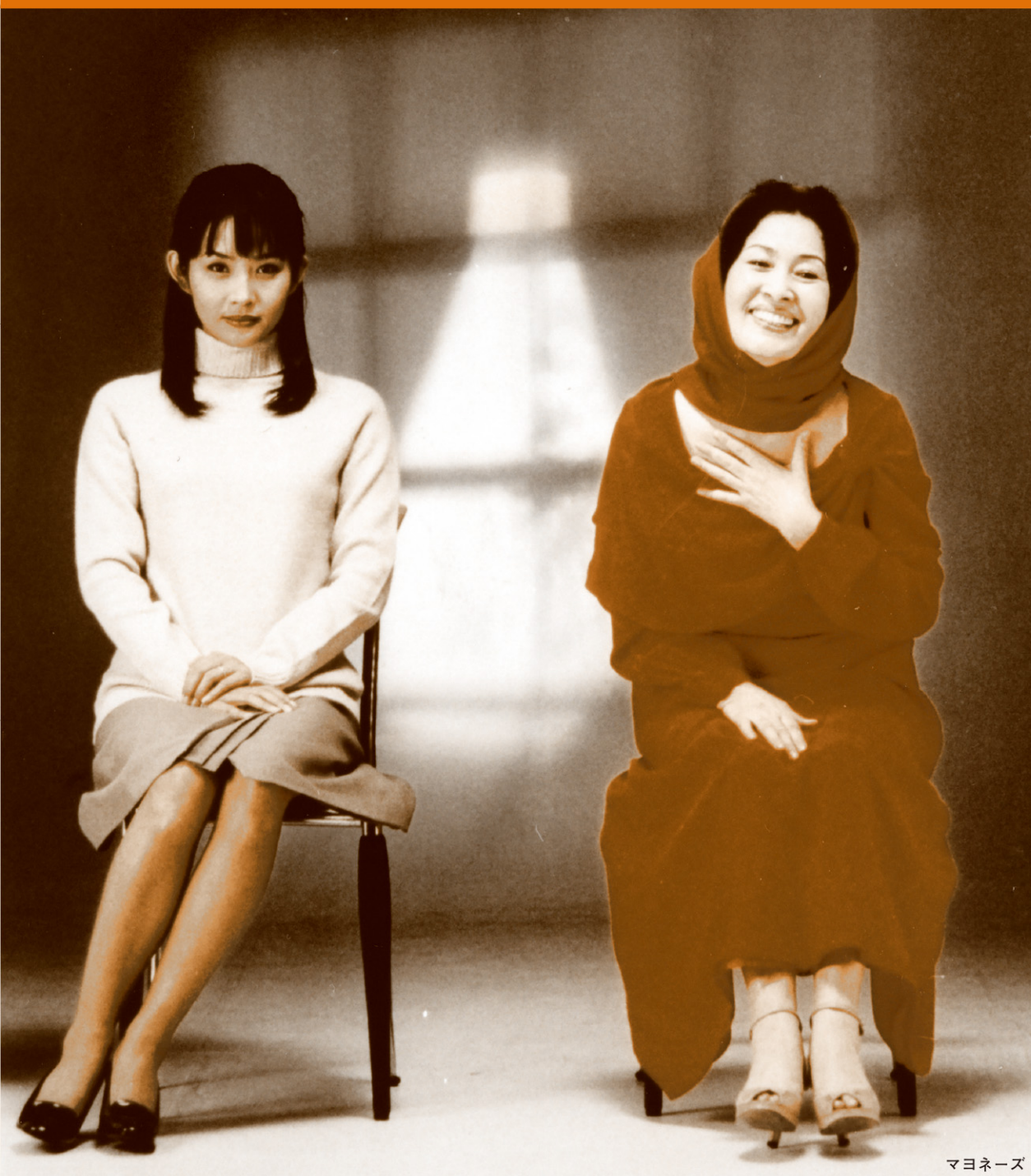
fiaf

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAFは  
映画の保存を目的とする国際団体です。  
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

通常  
上映

# 韓国映画特集

図書館収蔵の韓国映画の特集



マヨネーズ



ポリウルの夏



曼陀羅

新型コロナウイルス感染防止のため  
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

通常  
上映

# 韓国映画特集

図書館収蔵の韓国映画の特集

会期: 5月1日(土)～5月29日(土) ※休館日・休映日除く

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)



ザ・ヨンタク

1(土) 11:00 / 9(日) 14:00 / 21(金) 11:00

## 馬鹿たちの行進 *The March of the Fools*

ピオンテとヨンチョルは大学生。二人は合コンで女学生のヨンジャ、ヨンスクと仲良くなる。ピオンテはヨンジャと、ヨンチョルはヨンスクと付き合うがうまく行かない。70年代の閉塞した社会状況での学生たちの無軌道なバカ騒ぎを描いた作品。70年代を代表する作品の1本。当時の若者たちから熱狂的に支持された。



監督: ハ・ギルチョン 出演: ユン・ムンソブ ハ・ジェヨン  
1975年/35ミリ/カラー/101分/韓国/日本語字幕付き

1(土) 14:00 / 12(水) 14:00 / 21(金) 14:00

## 森浦への道 *On the Road to Sampo*

刑務所を出たチョンは風来坊のヨンドルと出会う。またふたりはペクファという女性と出会い、3人はチョンの故郷の森浦(サンポ)に向かって旅を始める。60年代から70年代に活躍したイ・マニ監督の遺作。孤独で寂しい3人の旅を詩情豊かに描いた本作は70年代を代表する韓国映画の1本とされる。



監督: イ・マニ 出演: ペク・イルソブ キム・ジンギョ  
1975年/35ミリ/カラー/99分/韓国/日本語字幕付き

2(日) 11:00 / 13(木) 11:00 / 22(土) 14:00

## 族譜 *The Genealogy*

日本統治下の朝鮮半島。創氏改名制度により日本式の姓名に変更しなければならないが、大地主のソル・ジニョンにとって600年続いた族譜に新たな姓を書き込むことなどできなかった。日本側はソルを説得すれば一気に改名が進むと考え、谷を説得のために派遣する。原作は梶山季之の小説。谷が心優しい青年で日本人が悪く描かれない事も珍しい。巨匠イム・グォンテク監督の代表作の1本である。



監督: イム・グォンテク 出演: チュ・ソンテ ハ・ミョンジュン  
1978年/35ミリ/カラー/106分/韓国/日本語字幕付き

2(日) 14:00 / 13(木) 14:00 / 22(土) 11:00

## 小さなボール *The Little Ball Tossed by a Dwarf*

キム一家は塩田を主産業とする貧しい村で慎ましく暮らしていた。ある日塩田の閉鎖が通達され、住民の立ち退き命令がでる。その代わりにマンションの入居権が与えられるのだが、入居権は有料であり、貧しい村の人々に払えるものではなかった。経済発展の影で切り捨てられていく人々を詩情豊かに描いたイ・ウォンセ監督の代表作。



監督: イ・ウォンセ 出演: アン・ソンギ チョン・ヤンジャ  
1981年/35ミリ/カラー/102分/韓国/日本語字幕付き

3(月・祝) 11:00 / 14(金) 11:00 / 23(日) 14:00

## 曼陀羅 *Mandala*

若い禅僧ポブンは仏教に対して懐疑の念で苦しんでいた。ある日ポブンは中年僧のジサンと出会い、二人で旅をする。ジサンは酒を飲むなど破天荒な僧だったが、仏教界の矛盾や偽善を批判する彼の言葉にポブンは真実を見出していく。イム・グォンテク監督が世界に知られるきっかけとなった作品。81年ベルリン国際映画祭審査員特別賞受賞。



監督: イム・グォンテク 出演: アン・ソンギ チョン・ムソン  
1981年/35ミリ/カラー/110分/韓国/日本語字幕付き

3(月・祝) 14:00 / 14(金) 14:00 / 23(日) 11:00

## 馬鹿宣言 *Declaration of Fools*

ドンチョルは町で出会った女学生のヘヨンに一目ぼれ。ドンチョルはユントクと一緒にヘヨンを誘拐するが、実はヘヨンは娼婦だった。二人は娼婦街で雑用係として働くが、新人娼婦を逃がそうとして失敗し、ヘヨン共々追放されてしまう。一見めちやくちやな展開と演出がなされている本作は、イ・チャンホ監督の名を世界に広めた80年代韓国映画の傑作の1本である。検閲を逆手にとった即興演出により、閉塞的な韓国社会を戯画的に表現した稀有の作品である。



監督: イ・チャンホ 出演: イ・ボヒ キム・ミョンゴン  
1983年/35ミリ/カラー/97分/韓国/日本語字幕付き

4(火・祝) 11:00 / 15(土) 11:00 / 26(水) 14:00

## ディープ・ブルー・ナイト *Deep Blue Night*

アメリカに密入国したベクは、永住権を得て韓国から恋人を呼びよせるつもりだった。そのためベクは、ロサンゼルスで働くジェーンにお金を払って偽装結婚を頼む。ジェーンにとってベクは6人目の夫だった。しかし一緒に暮らすうちに二人は次第に愛し合うようになる。

国際的に知られるようになり、韓国ニューウェーブと言われた80年代韓国映画を象徴する作品。オールアメリカロケで製作されたスケールの大きな作品で、興行的にも大ヒットとなる。海外で暮らす韓国系移民のアイデンティティーの不在と不安を描いている。何と言ってもベクを演じるアン・ソングの熱演が素晴らしく、韓国の映画賞で作品賞・監督賞・主演男優賞等主要な賞を独占した。

監督:ペ・チャンホ 出演:アン・ソング チャン・ミヒ  
1984年/35ミリ/カラー/110分/韓国/日本語字幕付き



4(火・祝) 14:00 / 15(土) 14:00 / 27(木) 11:00

## 黄真伊(ファン・ジニ) *Hwang Chin-ee*

名家の娘ジニは婚礼が近かった。彼女を密かに愛する靴屋は婚礼の日、焼身自殺をする。時がたちジニの家は没落、ジニは妓生となっていた。ある日彼女は政敵に追われる学者と出会う。ジニは彼を助けようと一緒に旅に出るのだった。ペ・チャンホ監督が芸術的作品を目指して、日本の溝口健二を参考として監督した作品。李朝時代に実在した妓生ファン・ジニの転落の人生が流麗なカメラで描かれる。



監督:ペ・チャンホ 出演:チャン・ミヒ チョン・ムソン  
1986年/35ミリ/カラー/119分/韓国/日本語字幕付き

5(水・祝) 11:00 / 16(日) 11:00 / 27(木) 14:00

## 旅人は休まない *A Man with Three Coffins*

公務員のスン・ソクは妻の遺骨を持って北朝鮮に行こうとする。妻は朝鮮戦争の戦災孤児で、遺骨を故郷に返そうとしたのだが、国境を超えることはできなかった。放浪の旅をするスンは国境近くの村で看護師のチェと出会う。イ・ボヒがスンの妻と看護師のチェの二役を演じる。まるで黄泉の国をさまようような映像が、分断された国家の悲哀を思わせる。



監督:イ・チャンホ 出演:イ・ボヒ キム・ミョンゴン  
1987年/35ミリ/カラー/104分/韓国/日本語字幕付き

5(水・祝) 14:00 / 16(日) 14:00 / 28(金) 11:00

## ザ・コンタクト *The Contact*

ラジオ番組のプロデューサー、ドンヒョンの元に昔の彼女のヨンへからレコードが返却されてくる。ドンヒョンがラジオでレコードをかけるとすぐにリクエストが来る。リクエストしたのはスヒョンという女性。ドンヒョンはスヒョンはヨンへの知り合いではないかと思う。ムーディーな音楽と映像で構成された都会的な恋愛ドラマ。韓国で大ヒットとなった。



監督:チャン・ユンヒョン 出演:ハン・ソッキュ チョン・ドヨン  
1997年/35ミリ/カラー/106分/韓国/日本語・英語字幕付き

8(土) 11:00 / 19(水) 14:00 / 28(金) 14:00

## マヨネーズ *Mayonnaise*

アジョンはソウルに住む主婦。ある日夫が海外出張中、田舎から母親が訪ねて来る。母親は痛風や糖尿病を患い、毎日不平ばかりをこぼす。アジョンはいらいらして母親と喧嘩ばかりしてしまう。本作は同名のベストセラー小説を映画化したもの。古い考え方の母親と、現代人のアジョンはまるで相いれないが、それでもほのかな絆で繋がっていることが描かれる。



監督:ユン・イノ 出演:キム・ヘジャ チェ・ジンシル  
1999年/35ミリ/カラー/103分/韓国/日本語・英語字幕付き

8(土) 14:00 / 20(木) 11:00 / 29(土) 11:00

## ボリウルの夏 *Season in the Sun*

ボリウルという田舎の村に若い神父のキムが赴任してくる。キムが赴任した教会は孤児院も兼ねていた。キムは大学でサッカーをしており、子どもたちにとけ込むためコーチを引き受ける。2002年のサッカー日韓ワールドカップを記念したような作品。キムと子どもたちとの関係がサッカーを通じて改善していく様が、コミカルに生き生きと描かれる。心温まる秀作。



監督:イ・ミニョン 出演:チャ・インピョ チャン・ミヒ  
2003年/35ミリ/カラー/102分/韓国/日本語・英語字幕付き

9(日) 11:00 / 20(木) 14:00 / 29(土) 14:00

## 見知らぬ国で *Hello, Stranger*

脱北者のジヌクは教育を受けたのち、ソウルに住居を与えられる。見たこともない高層マンションに入り、右も左もわからないジヌクは迷子になってしまう。また同じ脱北者でプサンに住むウォンソクから連絡があり、プサンに行こうとするのだが…。脱北者が韓国国内でどのように暮らしているかが描かれる興味深い作品。また韓国における外国人労働者など様々な問題が込められている。



監督:キム・ドンヒョン 出演:パク・インス チェ・ヒジン  
2007年/35ミリ/カラー/112分/韓国/日本語・英語字幕付き



1 土	11:00 馬鹿たちの行進	14:00 森浦への道
2 日	11:00 族譜	14:00 小さなボール
3 月祝	11:00 曼陀羅	14:00 馬鹿宣言
4 火祝	11:00 ディープ・ブルー・ナイト	14:00 黄真伊(ファン・ジニ)
5 水祝	11:00 旅人は休まない	14:00 ザ・コンタクト
6 木	休館日	
7 金	休映日	
8 土	11:00 マヨネーズ	14:00 ポリウルの夏
9 日	11:00 見知らぬ国で	14:00 馬鹿たちの行進
10 月	休館日	
11 火	休映日	
12 水		14:00 森浦への道
13 木	11:00 族譜	14:00 小さなボール
14 金	11:00 曼陀羅	14:00 馬鹿宣言
15 土	11:00 ディープ・ブルー・ナイト	14:00 黄真伊(ファン・ジニ)
16 日	11:00 旅人は休まない	14:00 ザ・コンタクト
17 月	休館日	
18 火	休映日	
19 水		14:00 マヨネーズ
20 木	11:00 ポリウルの夏	14:00 見知らぬ国で
21 金	11:00 馬鹿たちの行進	14:00 森浦への道
22 土	11:00 小さなボール	14:00 族譜
23 日	11:00 馬鹿宣言	14:00 曼陀羅
24 月	休館日	
25 火	休映日	
26 水		14:00 ディープ・ブルー・ナイト
27 木	11:00 黄真伊(ファン・ジニ)	14:00 旅人は休まない
28 金	11:00 ザ・コンタクト	14:00 マヨネーズ
29 土	11:00 ポリウルの夏	14:00 見知らぬ国で
30 日	自主上映/福岡映画サークル協議会例会	
31 月	休館日	

韓国映画特集

### 高畑勲展

### 日本のアニメーションに遺したもの

絵を描かない監督がどのようにして歴史に残るアニメーションを作ったのか。他のクリエイターたちとの交流や共同制作の過程をとおして明らかにします。

主な展示作品

- 「太陽の王子 ホルスの大冒険」
- 「アルプスの少女ハイジ」
- 「セロ弾きのゴーシュ」
- 「火垂るの墓」
- 「かぐや姫の物語」等



かぐや姫の物語 © 2013 畑事務所・Studio Ghibli・NDHDMTK

会場 福岡市美術館 (福岡市中央区大濠公園1-6)

会期 2021年4月29日(木・祝)～7月18日(日)  
月曜休館、ただし5月3日(月・祝)は開館。5月6日(木)は休館。

観覧料 一般1,500円、高大生1,000円、小中生600円

主催:福岡市美術館、西日本新聞社、FBS福岡放送 企画協力:スタジオジブリ  
問い合わせ先:福岡市美術館 TEL092-714-6051

### 自主上映のお知らせ

#### 5月30日(日) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品:「栄光のランナー1936ベルリン」  
(2016/134分/フランス=ドイツ=カナダ)  
①11:00～ ②14:00～

料 金:一般 当日1,400円(前売り1,200円)  
シニア 当日1,100円/中高生 当日800円  
障がいのある方 当日1,000円

主 催:福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

### 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



#### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 【市営地下鉄】  
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分
- 【西鉄バス】  
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分  
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
- ◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。